

単元名

世界の姿

1 単元のねらい

世界の地域構成について、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。また、世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、経度や緯度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置を基に理解している。 世界の略地図を赤道や本初子午線、大陸の形状や海洋との位置関係を理解して描いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、経度や緯度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6・7 単元のまとめ
知識・技能	●		●	●		
思考・判断・表現		●			○	○
主体的に学習に 取り組む態度	●		○			

3 単元構造図（全7時間） ☆獲得する認識

単元名 世界の姿	単元学習前の生徒の認識 小学校で学習した国の他に、世界にはどんな国や都市があるのだろうか。自分の知らない国や景色がたくさんあるので調べてみたい。地球儀や地図を使って、世界がどうなっているか知りたいな。
--------------------	--

第1時 世界の姿を見てみよう【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

地球はどんな姿をしているのだろう。

☆陸地 ☆海洋 ☆三大洋 ☆六大陸 ☆6州

地球を様々な角度から見ると、陸地や海洋の位置や分布が分かった。地球の表面は、陸地と海洋が3：7の割合で、海洋の方がかなり広く、地球は「水の惑星」と呼ばれている。大陸や海洋を六大陸や三大洋と区分したり、地域を6州に区分したりすることが分かった。私たちが生活している世界がどんな姿をしているのかももっと詳しく知ってみたい。

私たちが生活している世界は、どのような姿をしているのだろう。

第2時 世界のさまざまな国々①【●思判表】

世界の国々の名前と位置を白地図にまとめよう。

☆国境

世界の国々について調べると、様々な特徴をもった国や地域があることが分かった。国名や国旗の特徴、国境からもその国の歴史が覚えてくることが面白い。他にはどんな国があるのか知りたい。

第3時 世界のさまざまな国々②

【○主体的に学習に取り組む態度 ●知・技】

世界の様々な国を面積や人口に注目して調べよう。

☆人口密度

統計資料を活用すると、各国の情報が一目で分かり、国どうしを比較することができる。世界には日本の約45倍の面積をもつロシア連邦からディズニーランドよりも小さいバチカン市国など、様々な特徴をもった国があるんだな。

第4時 地球上の位置を表そう【○知識・技能】

地球上の位置はどのように表すのだろう。

☆緯度 ☆経度 ☆緯線 ☆経線 ☆赤道 ☆本初子午線 ☆北半球 ☆南半球

世界各地の位置は、緯度と経度を利用すれば正確に位置を表すことができると分かった。今までは正確に位置を表すことはできなかったけど、大陸や海洋の名前だけでなく、緯度経度を使えばわかりやすく伝えられるな。

第5時 地球儀と世界地図を比べてみよう【○思考・判断・表現】

地球儀と世界地図には、それぞれどのような特徴があるのだろう。

☆地球儀 ☆世界地図

地球儀と世界地図は特徴が異なり、それぞれ長所と短所がある。地球儀と世界地図の特徴を理解して、目的に合わせて使い分けることが大切だ。

第6・7時 単元のまとめ【○知識・技能 ○思考・判断・表現】

私たちが生活している世界は、どのような姿をしているのだろう。

単元を通して、世界は様々な特色をもった国々で構成されていることが分かった。世界の姿は、赤道や本初子午線、大陸の形状や海洋との位置関係を捉えながら略地図にまとめると分かりやすいな。

単元学習後の生徒の認識

この単元の学習前は、世界の国名や都市名を知っているだけだったけど、地球儀や地図を使うと、世界の位置や様子が分かって楽しいな。世界は、日本と比較して面積や人口も大きく違うなど、様々な特色をもった国々で構成されている。世界の姿は、赤道や本初子午線、大陸の形状や海洋との位置関係を捉えながら略地図にまとめると分かりやすいな。

これからの地理の学習を通して、世界や日本のことをもっと知ってみたい。

4 単元指導計画

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
1 地球の姿を見てみよう	<p>衛星写真や地球儀を大観する活動を通して、地球は大陸と海洋で構成されていることに気が付き、これからの学習の見通しをもって主体的に取り組もうとすることができる。</p> <p>☆陸地 ☆海洋 ☆三大洋 ☆六大陸 ☆6州</p>	<p>1 教科書の地球の写真と比較して、気付いたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球を見る角度によって、かなり違って見える。右側の写真はほとんどが海だ。 <p>地球はどんな姿をしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6つの大陸と3つの海洋に分けられる。 ユーラシア大陸が一番大きな大陸だ。 陸地より海洋の面積の方が大きい。 多くの大陸は北半球にある。南半球には大陸は少ない。 三大洋のなかでも太平洋が一番広い。 日本の他にも地球には小さな島がたくさんある。 南極大陸以外にある国や地域は6州に分けられる。ヨーロッパ州とアジア州は、ユーラシア大陸の中で区切られている。 <p>2 世界の様子について知りたいことを交流し、単元を貫く課題を設定する。</p> <p>《単元を貫く課題》</p> <p>私たちが生活している世界は、どのような姿をしているのだろう。</p> <p>3 本時のまとめとして、単元を貫く課題に対する予想を書く。</p> <p>地球を様々な角度から見ると、陸地や海洋の位置や分布が分かった。地球の表面は、陸地と海洋が3：7の割合で、海洋の方がかなり広く、地球は「水の惑星」と呼ばれている。大陸や海洋を六大陸や三大洋と区分したり、地域を6州に区分したりすることが分かった。私たちが生活している世界がどんな姿をしているのかももっと詳しく知ってみたい。</p>	<p>衛星写真や地球儀を活用し、大陸と海洋の位置や分布を把握している。</p> <p>世界の様子について知りたいことを考え、意欲的に取り組むことができている。</p> <p>態度=授業の様子 知技=交流の様子・ノート</p>	<p>◇教科書</p> <p>六大陸と三大洋の位置関係を地球儀で確認する活動を位置付ける。</p>
2 世界のさまざまな国々①	<p>おもな国の名前や位置を白地図にまとめる活動を通して、位置や国名の由来、国旗に表れた国の特徴、国境の決まり方について歴史的な経緯から捉えることができる。</p> <p>☆国境</p>	<p>1 教科書の写真やシルエットから国名を地図で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> チリは南北に長い。 エジプトは国境線がまっすぐになっている。 イタリアは靴の形に似ている。 <p>世界の国々の名前と位置を白地図にまとめよう。</p> <p>2 おもな国を白地図に位置付け、国名を記入する。国名の由来・国旗に表れた国の特徴・国境の決まり方の視点でまとめる。</p> <p>○国名の由来</p> <ul style="list-style-type: none"> コロンビアはアメリカ大陸に到達したコロンブスから名付けられた。 エクアドルはスペイン語で赤道という意味だ。 <p>○国旗に表れた国の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> オーストラリアやニュージーランドなどオセアニア州の国々の国旗には、南十字星やユニオンジャックの入った国旗が多い。 トルコやパキスタンなどイスラム教が多い国々の国旗には、三日月と星が描かれたものがある。 <p>○国境の決まり方</p> <ul style="list-style-type: none"> 山脈や川、海などを利用した国境線 緯線、経線などを利用して直線的に引いた国境線 直線的な国境線はアフリカ州に多い。 <p>3 オセアニア州の国々の国旗の多くにユニオンジャックが入っている理由や直線的な国境がアフリカ州に多く見られる理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> オセアニア州には、かつてイギリスの植民地だった国が多いことが分かった。 国旗や国境からその国の歴史が分かるんだな。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>世界の国々について調べると、様々な特徴をもった国や地域があることが分かった。国名や国旗の特徴、国境からもその国の歴史が見えてくるのが面白い。他にはどんな国があるのか知りたい。</p>	<p>おもな国々の名称と位置、世界の地域区分を理解し、その知識を白地図上にまとめている。</p> <p>また、国旗や国境線の特徴の共通点を、それぞれの国の歴史的な経緯から捉えている。</p> <p>思判表=ノートの記述</p>	<p>◇教科書</p> <p>オセアニア州の国旗にユニオンジャックが見られたり、直線的な国境がアフリカ州に多く見られたりする理由を歴史的な経緯から確認することで、国旗や国境からその国の歴史が見えてくることを実感できるようにする。歴史的背景については必要に応じて教師が補足して指導する。</p>

<p>3 世界のさまざまな国々②</p>	<p>地図帳の統計資料から面積の大きい国と小さい国、人口の多い国や少ない国を適切に調べることができる。また、世界の国々の特徴について意欲的に調べることができる。 ☆人口密度</p>	<p>1 教科書を見て気付いたことを交流する。 ・世界には日本よりも面積が大きな国もあれば、小さな国もある。シンガポールやベルギーは北海道よりも小さいな。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">世界の様々な国を面積や人口に注目して調べよう。</p> <p>2 面積が大きそうな国、人口が多そうな国を予想する。 ・ロシア連邦は面積が大きいよ。 ・中国は人口が多いと聞いたことがある。</p> <p>3 統計資料を活用し、次のことについて調べ、気付いたことを交流する。 ①面積が大きい国5か国と、小さい5か国 ②人口が多い国5か国 ・面積が世界で一番大きいロシア連邦は、日本の約45倍もある。 ・面積が世界で一番小さいバチカン市国はイタリアの中にあるよ。 ・人口が多い国はアジア州の国が多い。</p> <p>4 世界一面積が小さいバチカン市国はどれくらい小さいか予想し、教科書の地理にアクセスで確認する。 ・バチカン市国はディズニーランドよりも小さいなんてびっくりした。国内旅行があつという間にできそうだな。</p> <p>5 教科書 p13⁵を使い、日本の人口密度が高いことを捉える。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>統計資料を活用すると、各国の情報が一目で分かり、国どうしを比較することができる。世界には日本の約45倍の面積をもつロシア連邦からディズニーランドよりも小さいバチカン市国など、様々な特徴をもった国があるんだな。</p>	<p>統計資料を活用して、各国の面積や人口について適切に調べている。 国の面積の大小や人口など、各国の特徴について意欲的に調べている。 知技=統計資料の活用の様子 態度=授業の様子</p>	<p>◇教科書</p> <p>3の活動に入る前に、教科書のスキル・アップを活用し、統計資料の使い方を確認する。</p> <p>バチカン市国については興味をもつ生徒も多いと考えられる。ICT機器を活用しながら視覚的にも捉えられるようにする。</p>
<p>4 地球上の位置を表そう</p>	<p>地球の模式図から緯度と経度について理解する活動を通して、緯度と経度を使って、地球上の位置を表す方法を身に付けることができる。また、地図帳を用いて、さまざまな都市の位置を探す力を身に付けることができる。 ☆緯度 ☆経度 ☆緯線 ☆経線 ☆赤道 ☆本初子午線 ☆北半球 ☆南半球</p>	<p>1 日本の位置を説明する方法を考え、課題をつくる。 ・ユーラシア大陸の東の方にある島国。 ・太平洋の北西の方にある。 ・正確な位置を説明するのは難しい。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">地球上の位置はどのように表すのだろうか。</p> <p>2 教科書の地球の模式図から緯線と経線、赤道について確認する。 ・イギリスのロンドンを通る経線を本初子午線と呼び、世界の基準となっている。 ・本初子午線より西を西経、東を東経と呼びそれぞれ180度まで表すことができる。 ・赤道は、経度0度である。赤道よりも北を北緯、南を南緯と呼びそれぞれ90度まで表すことができる。</p> <p>3 東京の位置を経度と緯度を使って表す。 ・東京の位置はおよそ「北緯36度、東経140度」と表せる。</p> <p>4 地図帳でアメリカのニューヨークの位置を調べ、緯度と経度を使って表す。 ・地図帳の索引を使うと、国や都市の位置を簡単に探すことができるな。 ・他の国や都市も探してみよう。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>世界各地の位置は、緯度と経度を利用すれば正確に位置を表すことができるとわかった。今までは正確に位置を表すことはできなかつたけど、大陸や海洋の名前だけでなく、緯度経度を使えばわかりやすく伝えられるな。</p>	<p>緯度と経度を使って地球上の位置を適切に表している。 地図帳の索引を活用して都市の位置を適切に探している。 知技=活動の様子</p>	<p>◇教科書</p> <p>アメリカのニューヨークの位置を調べる活動では、まずは自力で探すようにする。その上で、地図帳の索引を活用して調べている生徒を紹介し価値づけることで、全体に広める。その際には、教科書のスキル・アップを活用する。</p>

<p>5 地球儀と世界地図を比べてみよう</p>	<p>地球儀と世界地図を比較する活動を通して、それぞれの特徴に気づき、目的に合わせて使用することが大切であることを捉えることができる。 ★地球儀 ★世界地図</p>	<p>1 地球儀と世界地図を提示し、課題を設定する。 地球儀と世界地図には、それぞれどのような特徴があるのだろう。</p> <p>2 地球儀と世界地図の違いについて調べ、交流する。 ・地球儀と地図では、場所によって大陸や島の大きさが違う。 ・地球儀と地図では、実際に距離を測ってみると違いがある。 ・球体を平面で表すことはできない。だから地図上ではすべてを正確に表すことはできない。</p> <p>3 地球儀と世界地図はどちらが便利かを考える。 ・地球儀は地球をほぼ正確に表すことができるけど、持ち運びには不便。 ・世界地図は一目で全体を見ることができ、すべてを正確に表すことができない。 →世界地図と地球儀には、それぞれ長所と短所があることを捉え、目的に応じて使うことが大切であることを理解する。</p> <p>4 すべてを正確に表すことができないという世界地図の特徴を補うために、様々な種類の世界地図が作られたことを知る。 ・中心からの距離と方位が正しい地図や面積が正しい地図がある。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>地球儀と世界地図は特徴が異なり、それぞれ長所と短所がある。地球儀と世界地図の特徴を理解して、目的に合わせて使い分けることが大切だ。</p>	<p>地球儀と世界地図の特徴を比較し、目的に合わせて使用することが大切であることを捉えている</p> <p>思判表=交流の様子、振り返り</p>	<p>◇教科書</p> <p>世界地図で面積や距離が正確に表せない理由を教科書を使って考えることで、地球儀と世界地図の違いをより捉えらえるようにする。</p>
<p>6 7 単元のまとめ</p>	<p>これまでの学習を振り返り、単元を貫く課題を解決し、単元を通して学んだことを世界の略地図上に表現することができる。</p>	<p>1 単元のまとめをする 私たちが生活している世界は、どのような姿をしているのだろう。</p> <p>2 教科書のスキル・アップを参考にして、世界の略地図を描く。</p> <p>3 世界の略地図に、本初子午線(経度0度の線)、経度180度の線を青色で、赤道(緯度0度の線)を赤色で引く。</p> <p>4 単元を貫く課題に対するまとめを略地図上に表現し、自分の言葉でまとめる。 ・六大陸 ・三大洋 ・6州 ・様々な特徴をもった国々</p> <p>5 単元を貫く課題について、仲間と交流する。</p> <p>単元を通して、世界は様々な特色をもった国々で構成されていることが分かった。世界の姿は、赤道や本初子午線、大陸の形状や海洋との位置関係を捉えながら略地図にまとめると分かりやすいな。</p>	<p>単元を通して学んだことをいかして単元を貫く課題について、分かりやすく表現している。</p> <p>知技=世界の略地図 思判表=仲間との交流の様子、世界の略地図</p>	<p>◇教科書</p>